

## 尾張旭市健康推進委員会会議録

- 1 開催日時  
平成24年 2月24日（金）  
開会 午後 1時30分  
閉会 午後 3時00分
- 2 開催場所  
尾張旭市保健福祉センター 4階 シアタールーム
- 3 出席委員  
日比野 清康、山田響介、斎藤 征夫、田中 幹二、西山 妙子、秋田 宏  
瀬瀬 陽子、野沢 高子、萩野 光枝、河野 次雄、塚本 孝二 11名
- 4 欠席委員  
宮田 敬三、森田 敬一、松原 吉久 3名
- 5 出席した事務局職員  
健康課長 吉田 和仁、主幹 千葉 幸代、課長補佐兼庶務係長 竹内 元康  
副主幹 稲垣 富久美
- 6 傍聴者数  
無
- 7 議題等
  - (1) 委員長、副委員の長選出について
  - (2) 平成23年度保健事業の概要報告について
  - (3) 尾張旭市の健康都市づくりの取り組みについてー健康都市推進室ー
  - (4) 効果的な保健事業展開について
- 8 会議の要旨  
主 幹 ご案内の時間がまいりました。  
ただいま委員定数14名のうち11名のご出席をいただいております。  
「尾張旭市健康推進委員会条例第7条第2項」の規定の定足数に達しております  
ので、ただいまから尾張旭市健康推進委員会を開催いたします。  
なお、この会議は傍聴を認め、後日議事録を公表するといった会議の公開を行なうものですので、委員の皆様にはご了承いただきますようお願い申し上げます。  
本日健康福祉部長は他の会議が入っておりますので健康課長吉田よりご挨拶申し上げます。  
  
健康課長 <<あいさつ>>  
  
健康課長 それでは、皆様方に当委員会の委員をお願いいたしまして、本日が最初の会議になりますので、議事に入ります前に、自己紹介をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。また、お手元の委員名簿を参考に、名簿順にお願いいたします。

(自己紹介) 委員11名、続いて事務局職員

健康課長 ありがとうございます。

副主幹 それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。

- ① 本日の次第・委員会名簿・健康推進委員会条例
  - ② 平成23年度保健事業、スライド資料
  - ③ 平成23年度尾張旭市サービス予定表
  - ④ 保健サービス案内版
  - ⑤ 尾張旭市の健康都市づくりの取り組み、スライド資料
- 以上でございます。

健康課長 それでは、議事に入ります前に、今回、委員の改選がありまして、前回から引き続き委員になられた方、新しくなられた方がお見えになりますので、「健康推進委員会」について簡単ではありますが、説明をさせていただきます。

尾張旭市は、「健康づくりのまちづくり」に取り組む指針を掲げ、市民一人ひとりが生き甲斐を持ち、生き活きと暮らせることを目指し、各種施策を展開しております。

こうした市民の健康増進のための施策について、より効果的な展開を図り、より一層の健康の保持増進を図るために、専門的かつ市民の視線からなど、あらゆる方面から、ご審議いただくための、「尾張旭市健康推進委員会設置条例」を平成15年度に制定し、附属機関としての位置付けとし、この健康推進委員会を設置しました。

平成21年・22年には、「健康あさひ21計画見直し」などの数多くのご審議をいただき、尾張旭市民の健康づくりに多大なるご尽力をいただきました。

23年度は、第1回といたしまして健康課及び健康都市推進室の事業等の報告をさせていただきます。委員さんのご意見等をお聞きしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題(1)の「委員長及び副委員長の選出について」に移らせていただきます。「委員会条例第6条第1項」の規定によりまして、「委員長及び副委員長は委員の互選により定める。」ことになってはいますが、どのようにさせていただきますいただいたらよろしいでしょうか。

瀨瀬委員 前回、委員長を受けていただきました先生が、今回も委員になっていただいておりますので、引き続き委員長に瀬戸旭医師会の「日比野委員」、副委員長に歯科医師会の「山田委員」にお願いできないでしょうか。

健康課長 只今、尾張旭市健康づくり食生活改善協議会の瀨瀬委員から「委員長に日比野清康委員、副委員長に山田響介委員にお願いしてはどうか」と言うご発言がありました。がいかがでしょうか。

委員 「異議なし」の声多数

健康課長 「異議なし」の声をいただきましたので、委員長に瀬戸旭医師会から選出の日比野清康委員、副委員長に尾張旭市歯科医師会から選出の山田響介委員にお願いしたいと思います。

《委員長・副委員長座席移動》

健康課長 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。日比野委員長にごあいさつをいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員長 《委員長あいさつ》

副委員長 《副委員長あいさつ》

健康課長 有難うございました。

それでは、議事に入らせていただきたいと思います。 「委員会条例第6条第2項」の規定によりまして、委員長が会務を総理することになっておりますので、日比野委員長に議事の進行をお願いしたいと思います。

委員長 皆様のご協力をいただきながら、議事を進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、会議次第、3の議題（2）の「平成23年度保健事業の概要報告」について、事務局から説明をお願いします。

主 幹 平成23年度保健事業の概要について説明させていただきます。お手元の資料に基づいて説明をさせていただきます。

《保健事業概要説明》 別添資料

以上、主な保健事業について報告させていただきました。

委員長 それでは、続きまして（3）「尾張旭市の健康都市づくりの取り組みについて」健康都市推進室より説明をお願いします。

ご質問、ご意見については、この説明後、（2）（3）合わせてお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。

健康都市推進係長

尾張旭市の健康都市づくりの取り組みについて、ご説明させていただきます。

《健康都市づくり活動説明》 別添資料

以上、健康都市づくりの取り組みについて、ご説明させていただきました。

委員長 それでは、保健事業と健康都市づくりの取り組みについて、事務局より概要説明をしていただきましたが、何かご質問、ご意見はありませんか。

《質問、意見等》

委員長 保健事業の3ページのネットで元気まるの新しい「こころの天気予報」が取り入れられ、このことについてご意見ご質問はないでしょうか。  
社会生活に及んでいる、うつ病・自殺の問題に絡んでくるのではないのでしょうか。

萩野委員 どれくらいのアクセス数があるのでしょうか

課長補佐 当初よりシステム改良しまして、トップページの右上に、12月中からカウントできるようになり100人はあったと思います。  
途中で中止した場合はカウントとされず最後まで進んで結果が出た時点でカウントされるようになっています。

委員長 いま社会で必要とされていること、また住民側にとって良いことだと思います。

河野委員 たくさんの事業をされて感心しております。  
筋力トレーニング事業など5年間ののち、例えば寝たきりの人の減少、病人が減ったなどはわかるが具体的な結果が分かるような指針があれば教えてほしい。

又、他市と比べた場合が分かるとよい。具体的にどうなったかなど、具体的な指針が分かるようなものがあればよいと思います。

尾張旭としてこれだけの事業をして具体的に何の病気が減ったなど県や市町村と比べてどうかを知りたいです。

委員長 このような結果が「健康都市づくりの評価」とし健康都市連合から「クリエイティブデベロップメント賞」を3大会連続で表彰されたことと思います。

主 幹 健康都市推進室が健康寿命を把握しております。

委員長 健康都市推進室よりわかれば報告をお願いしたいと思います。

健康都市推進係長

平均自立期間は日常生活に介助を要しない期間のことです。

算出しましたのは、65歳から介護になるまでの期間です。

65歳の男子 尾張旭市 17年 17.10%、20年 17.48%、県 20年 16.84%、国 16.98% 尾張旭市は国や県より高くなっています。

65歳の女子 尾張旭市 17年 21.51%、20年 21.62%、県 20年 19.95%、国 20.24% 尾張旭市は国や県より1年長い自立期間があることが分かりました。

委員長 このように統計処理されておりますので、市民の皆さんに知ってもらえたらと思います。

健康都市推進係長

これらは市のホームページで 健康都市づくりのまとめとしまして評価の冊

子が載せてあります。また今後データを更新しPRしたいと思います。

健康課長 行政としてこれから大きな問題になる医療費、介護等が影響しており医療費の分析が難しく、課題として取り組んでおります。

斎藤委員 今まで委員を務めさせていただいて全体的に保健事業の多彩さを感じております。

保健事業は1, 2年で数字が最高に達します。その後、急激に減少するのはどこでも共通の項目であり現状ですが、クリアされているのは努力があり感心しております。地域住民のために施策が行われて、これだけ続いて参加者を確保されているのに深く感心しております。

健康課長 健康づくりによって健康を保つ、整った医療で健康を保つことが市の政策です。

委員長 他にご質問、ご意見はございませんか。

それではないようですので、(4)「効果的な保健事業展開について」について、事務局から説明をお願いします。

健康課長 先ほど、保健事業についてご説明させていただきましたが、この保健事業にできるだけ多くの市民の方にご参加いただき、健康づくりのきっかけにさせていただきたいと考えております。

しかし、ここ数年来、元気まる測定を含む各種健康づくり教室への参加者が

減少傾向にあります。その反面、「尾張旭市まちづくりアンケート」では、健康増進に取り組んでいる市民の割合が、20年度41.5%から、22年度では、42.6%と上昇しております。ウォーキングなどなんらかの形で、独自に健康づくりをしているのではないかと推測されます。

こうした背景の中、健康課では2つの視点から重点的に施策として現在取り組んでおります。まず、その1点目は、市民ニーズに基づいた積極的な出前講座の実施です。

この出前講座のメリットとして、まず市民が希望するテーマにそっていること、また、地域の中で、小集団に対して実施しますので、健康意識があまり高くない人も仲間に誘われ参加されているのではないかと思います。健康づくり教室への参加はほとんど健康意識の高い方です。

こうしたことから、出前講座は健康意識の低い方にも健康づくりへの動機づけの機会として有効な手段ではないかと考えております。

また2点目は、ボランティアである健康づくり推進員との市民協働力による健康づくり事業の展開です。この事業は、健康づくり推進員が市民目線で、「筋力トレーニング」「ウォーキング」「笑い与健康」の3本柱で活動を行っております。健康づくり教室には健康意識の高い方が参加されることが多いです

先日もこの健康づくり推進員主催による健康講座「ワッハッハ体操で心も体

もリフレッシュ！」を新池交流館で実施したのですが、参加呼びかけも健康づくり推進員自らが行き、123名の参加があり大盛況でした。健康課だけではこれだけの動員は難しいと思っております。これも市民協働による

ヘル

スプロモーションとしての保健事業への取り組み効果のひとつではないかと考えております。

この出前講座や市民協働による取り組みについて、また他の効果的な保健事業を展開していくための視点や方法など、委員の皆さまからぜひ、ご意見をお聞かせいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ただいま、効果的な保健事業の展開について、事務局から説明がありましたがこれについてご意見、ご質問などございませんか。

《質問、意見等》

副委員長 広報活動に力を入れ、市と共同でPRしていきたい。成人歯科は充実しているが受診率が高くないので。

塚本委員 ネットで元気まるを広報でもっとPRするとよい。

萩原委員 「ぐっと健康 人・まち・なかま事業」に関して 具体的に事業所をどのようにして巻き込んでいくのか。

健康都市推進室係長

健康都市の取り組みを事業者、市民活動団体、学校などに広げ、全市的に健康づくりを進める事を目的とした事業です。団体が日常的に行っている「健康都市づくり」の活動を登録してもらいます。

市のホームページに活動状況を掲載して、活動を他の団体に見てもらい、健康都市づくりの情報を共有してもらっています。

例えば企業の体育館を地域住民に土・日に無料開放したり、夏祭りを地域住民を巻き込んで開催するなど、市内の企業の健康都市への取り組みもPRしている。

市としては市商工会等に資料を配布したりして登録を募っている。

斎藤委員 各会場で行うこともいいが、個々で行っているものも評価してもいいのでは。

健康都市推進室

歩っとチャレンジウォーキングなど個人でも参加できる事業も実施用意しています。

主 幹 教室等に参加できない方にも 個人に対して電話・等で対応している状況です。

健康課で取り組んでいる、日本縦断ウォーキングも広報で周知していきたい。

- 健康課長 健康づくりは良いこと、良いことは楽しい、楽しいから健康づくりができる。継続がポイントになる。楽しく仲間がいてこそ市民から市民へと繋がる。
- 瀬瀬委員 健康づくり食生活改善協議会は健康課と共同で実施している。
- 野沢委員 元気まる測定のお手伝いをしている。測定は結果が分かるので良いと思う。とくに女性が熱心に参加している。また、夫婦でウォーキングをしています。
- 西山委員 市の献血活動に協力しており、少子高齢化が進んでいるので、献血者が減っているのが現状です。若い人は貧血傾向の方が多く献血できない。
- 田中委員 健康に関する回覧板が何もない。健康都市であるので健康の回覧板を回してみても、回覧板は効果があると思う。
- 秋田委員 たばこをやめたら体重が増加した。ウォーキングは70分ぐらいは実施しているが。
- 委員長 たばこの禁煙度については敷地内全面禁煙、総合病院は進んでいるが個人病院では進んでいない。
- 委員長 他にご質問、ご意見はございませんか。  
それではないようですので、これをもちまして、平成23年度健康推進委員会を閉会いたします。  
本日はお忙しい中どうもありがとうございました。